| 学校番号 | ３０２ |
|---|---|

令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 生物 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 生物（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | アクセスノート　（実教出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生命科学は 21 世紀に入って大きく発展してきています。DNA、ゲノム編集、iPS 細胞など新聞やテレビなどでもよく取りあげられます。そんなホットな「生物」をみなさんと一緒に主体的に学んでいきます。各単元で課題を与えます。その課題を全員達成できるようにみんなで学び合いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観・実験などに関する基本的な技能を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究する態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。 | 生物や生物現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 | 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 生物の進化 | ・生命の起源と細胞の進 化<br>・遺伝子の変化と進化のしくみ<br>・生物の系統と進化 | a:原始地球で発生した最初の 生命と生物進化について理解 する。<br><br>b:最初の生物がどのような生 きものだったのか原始地球の 環境を踏まえて説明できる。<br><br>c: 授業の内容について意欲的に取り組み、努力の姿勢が見られる。 | ・定期考査<br><br>・確認テスト | ・定期考査<br><br>・ワークシート<br><br>・実験・観察 | ・授業準備・取り組み姿勢<br><br>・ワークシート<br><br>・観察・実験 |
| | 植生と遷移・生態と環境 | ・植生と遷移<br>・遷移<br>・バイオーム<br>・個体群と生物群集<br>・生態系 | a: 身近な自然がいかに形成されたのか、気候や光合成能力との関連を理解する。<br><br>b: 「生物の多様性と生態系」についての身近な環境問題のニュースや話題に関連づけて、議論することができる。<br><br>c:植生や生態系の成り立ちに興味をもち、取り組み姿勢に努力が見られる。 | ・定期考査<br><br>・確認テスト | ・定期考査<br><br>・ワークシート<br><br>・実験・観察 | ・授業準備・取り組み姿勢<br><br>・ワークシート<br><br>・観察・実験 |
| 2学期 | 生命現象と物質 | ・細胞と分子<br>・生命現象とタンパク質<br>・代謝 | a:細胞を構成する物質について理解する。<br><br>b:代謝とエネルギーの関係を 理解し、身近な現象と関連付けて説明できる。<br><br>c: 授業の内容について意欲的に取り組み、努力の姿勢が見られる。 | ・定期考査<br><br>・確認テスト | ・定期考査<br><br>・ワークシート<br><br>・実験・観察 | ・授業準備・取り組み姿勢<br><br>・ワークシート<br><br>・観察・実験 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 遺伝情報の発現と発生 | ・遺伝情報とその発現<br>・発生と遺伝子発現<br>・遺伝子を扱う技術 | a: 発生には多数の遺伝子がはたらいて、体がつくられることを理解し、知識を身につけている。<br><br>b: 発生のしくみについて、仮説をたてて考察し、様々な資料から結論を導き出しそれを表現することができる。<br><br>c: 授業の内容について意欲的に取り組み、努力の姿勢が見られる。 | ・定期考査<br><br>・確認テスト | ・定期考査<br><br>・ワークシート<br><br>・実験・観察 | ・授業準備・取り組み姿勢<br><br>・ワークシート<br><br>・観察・実験 |
| 3学期 | 生物の環境応答 | 動物の反応 | a:耳・骨格筋の構造とその機能について理解し、知識を身につけている。<br><br>b: 静止電位と膜電位について化学的な側面から理解し、興奮伝導のしくみ等について、順序だてて論理的に説明することができる。<br><br>c: ニューロンの構造とその機能について関心をもち、意欲的に探求しようとする。ニューロンが複雑に接続することにより高度な処理が行なわれていることに関心をもつ。 | ・定期考査<br><br>・確認テスト | ・定期考査<br><br>・ワークシート<br><br>・実験・観察 | ・授業準備・取り組み姿勢<br><br>・ワークシート<br><br>・観察・実験 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度